

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-89886

(P2009-89886A)

(43) 公開日 平成21年4月30日(2009.4.30)

(51) Int.Cl.
A47C 1/024 (2006.01)F I
A47C 1/024テーマコード (参考)
3B099

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2007-263180 (P2007-263180)
(22) 出願日 平成19年10月9日 (2007.10.9)(71) 出願人 000002082
スズキ株式会社
静岡県浜松市南区高塚町300番地
(74) 代理人 100099623
弁理士 奥山 尚一
(74) 代理人 100096769
弁理士 有原 幸一
(74) 代理人 100107319
弁理士 松島 鉄男
(72) 発明者 黒木 陽平
静岡県浜松市南区高塚町300番地 スズ
キ株式会社内
(72) 発明者 渥美 佑樹
静岡県磐田市東平松1403 株式会社ス
ニック内

最終頁に続く

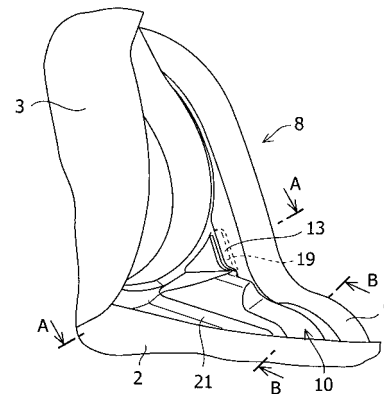
(54) 【発明の名称】 シートのリクライニング機構を覆うカバーの構造

(57) 【要約】

【課題】 アウターカバーとインナーカバーとの合わせ部に隙間が生じるのを防止し、外観の向上を図るとともに、ガタツキを抑えることが可能なシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造を提供することにある。

【解決手段】 本発明は、車両用シート1のリクライニング機構4を外側から覆うアウターカバー9と、リクライニング機構4を内側から覆うインナーカバー10とを備え、アウターカバー9の端縁に、リクライニング機構4の構成部品であるリクライニングブラケット5の上部端縁5aと共にインナーカバー10の端縁を覆いながらインナーカバー10の端縁の起立片19と係合する係合片13を設ける一方、係合片13に隣接して、アウターカバー9の端縁のフランジ部9aに当接する当接部18をインナーカバー10の端縁に設けている。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両用シートのリクライニング機構を外側から覆うアウターカバーと、前記リクライニング機構を内側から覆うインナーカバーとを備え、前記アウターカバーの端縁に、前記リクライニング機構の構成部品の端縁と共に前記インナーカバーの端縁を覆いながら前記インナーカバーの端縁と係合する係合部を設ける一方、該係合部に隣接して、前記アウターカバーの端縁のフランジ部に当接する当接部を前記インナーカバーの端縁に設けたことを特徴とするシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造。

【請求項 2】

前記アウターカバーの係合部と前記インナーカバーの当接部は、前記車両用シートを構成するシートバックとシートクッションとの間に位置する前記リクライニング機構の露出部に配設されていることを特徴とする請求項 1 に記載のシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造。

【請求項 3】

前記当接部を設けた前記インナーカバーの箇所には、前記シートクッションの座面側に向けて膨出させた膨出部が設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載のシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、車両用シートのリクライニング機構を覆うカバーの構造に係り、さらに詳しくは、リクライニング機構の外側と内側の両方を覆うためのカバーの構造に関する。

【背景技術】

【0002】

一般に、車両用のリクライニングシートは、シートバックの凭れ角度を調整するためのリクライニング機構を装備している。このようなリクライニング機構は、外観向上を図るために、カバーによって覆われており、該カバーとしては、リクライニング機構を外側から覆うアウターカバーと、内側（乗員側）から覆うインナーカバーとによって構成されたものが提供されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

【特許文献 1】 実用新案登録第 2509180 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、上述した従来のリクライニング機構を覆うカバーにあっては、アウターカバーとインナーカバーのそれぞれがリクライニング機構に固定されているので、これらアウターカバーとインナーカバーとの間の変形などにより、互いの合わせ部に大きな隙間が発生し、外観を損ねるおそれがあった。

【0005】

本発明はこのような実状に鑑みてなされたものであって、その目的は、アウターカバーとインナーカバーとの合わせ部に隙間が生じるのを防止し、外観の向上を図るとともに、ガタツキを抑えることが可能なシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記従来技術の有する課題を解決するために、本発明は、車両用シートのリクライニング機構を外側から覆うアウターカバーと、前記リクライニング機構を内側から覆うインナーカバーとを備え、前記アウターカバーの端縁に、前記リクライニング機構の構成部品の端縁と共に前記インナーカバーの端縁を覆いながら前記インナーカバーの端縁と係合する係合部を設ける一方、該係合部に隣接して、前記アウターカバーの端縁のフランジ部に当

10

20

30

40

50

接する当接部を前記インナーカバーの端縁に設けている。

【0007】

また、本発明において、前記アウターカバーの係合部と前記インナーカバーの当接部は、前記車両用シートを構成するシートバックとシートクッションとの間に位置する前記リクライニング機構の露出部に配設されている。

さらに、本発明において、前記当接部を設けた前記インナーカバーの箇所には、前記シートクッションの座面側に向けて膨出させた膨出部が設けられている。

【発明の効果】

【0008】

上述の如く、本発明に係るシートのリクライニング機構を覆うカバーの構造は、車両用シートのリクライニング機構を外側から覆うアウターカバーと、前記リクライニング機構を内側から覆うインナーカバーとを備え、前記アウターカバーの端縁に、前記リクライニング機構の構成部品の端縁と共に前記インナーカバーの端縁を覆いながら前記インナーカバーの端縁と係合する係合部を設ける一方、該係合部に隣接して、前記アウターカバーの端縁のフランジ部に当接する当接部を前記インナーカバーの端縁に設けているので、アウターカバーの端縁とインナーカバーの端縁とが互い違いに係合し合うことになり、互いの端縁の開きによる隙間の発生を確実に防止でき、その結果、アウターカバーとインナーカバーとの合わせ部の外観向上を図ることができる。

【0009】

また、本発明によれば、前記アウターカバーの係合部と前記インナーカバーの当接部は、前記車両用シートを構成するシートバックとシートクッションとの間に位置する前記リクライニング機構の露出部に配設されているので、乗員の乗降時において、乗員の腰部や大腿部と最も接触しやすい箇所に係合部及び当接部が位置することになり、乗降によるカバーへの負荷を効果的に防ぐことができ、カバー同士の開きをより一層確実に防ぐことができる。

【0010】

さらに、本発明によれば、前記当接部を設けた前記インナーカバーの箇所には、前記シートクッションの座面側に向けて膨出させた膨出部が設けられているので、乗降の際に、膨出部が最初に乗員の腰部または大腿部に当接して、アウターカバーを押し付けることになり、当接部と隣接する係合部の係合力を一層強めることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、本発明を図示の実施の形態に基づいて詳細に説明する。

図1は本発明の実施形態に係るリクライニング機構を覆うカバーの構造が適用される車両用シートの全体を車両前方から見た斜視図、図2は本発明の実施形態のカバーを構成するアウターカバーをリクライニング機構の構成部品に取付ける前の状態を示す斜視図、図3は図2のアウターカバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態を示す斜視図、図4は図2のカバーを構成するアウターカバー及びインナーカバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態をシート内側から見た斜視図、図5は上記実施形態のアウターカバーを内側から見た斜視図、図6は上記実施形態のインナーカバーを内側から見た正面図、図7は図4におけるA-A線断面図、図8は図4におけるB-B線断面図、図9は上記実施形態のアウターカバー及びインナーカバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態を示す平面図である。

【0012】

図1に示すように、本発明の実施形態に係る車両用シート1は、リクライニングシートであり、主として、乗員が着座するシートクッション2と、着座した乗員の背を受けるシートバック3とから構成されている。そして、シートクッション2とシートバック3との間には、当該シートバック3の凭れ角度を調整するためのリクライニング機構4が設けられている。

このリクライニング機構4のうち、回動しない側の構成部品であるリクライニングブラ

ケット 5 は、図 2 及び図 3 に示すように、シートクッション 2 に固定された固定ブラケット 6 の外側壁にボルト締めで取付けられている。そのため、固定ブラケット 6 の外側壁は、車両前後方向に沿って延在して立設されており、外側壁の上部には、後述するインナーカバーのフックを差し込む 2 つの差込孔 7 が車両前後方向に間隔を置いて穿設されている。なお、リクライニングブラケット 5 の上部端縁 5 a は、内側へ向かって略直角に折り曲げられている。

【0013】

上記リクライニング機構 4 は、リクライニングカバー 8 によって外部から見えなように覆われている。このリクライニングカバー 8 は、図 1 ～図 9 に示すように、リクライニングブラケット 5 及び固定ブラケット 6 を間に挟んで、リクライニング機構 4 を外側から覆うアウターカバー 9 と、リクライニング機構 4 を内側から覆うインナーカバー 10 の 2 つのカバーを備えることにより構成されている。

【0014】

アウターカバー 9 は、図 2、図 5、図 7 及び図 8 に示すように、リクライニング機構 4 の外側露出部分の全体を覆うことが可能な大きさで外形を有している。すなわち、アウターカバー 9 の車両前方側は、上下幅が小さく細長い形状に形成され、下端縁が内側へ折り曲げられたフランジ部 9 a となっている。そして、車両前方側の中間部分には、内側に凹んだ凹部 11 が設けられており、該凹部 11 の内側側壁面には、図示しないビスなどを挿通してアウターカバー 9 を固定ブラケット 6 に取付けるための取付孔 12 が穿設されている。

また、アウターカバー 9 の車両後方側は、車両後方へ向かって斜め上方に立ち上がった幅広の形状に形成され、その周縁は、車両前方側の下端縁のフランジ部 9 a と連続したフランジ部となっている。しかも、シートクッション 2 とシートバック 3 との間に位置する箇所のフランジ部 9 a の先端縁には、斜め下方へ向かって延在する係合片 13 が設けられている。この係合片 13 は、リクライニング機構 4 の構成部品であるリクライニングブラケット 5 の上部端縁 5 a と共にインナーカバー 10 の上部端縁を覆いながら、当該インナーカバー 10 の上部端縁と係合するように構成されている。

さらに、アウターカバー 9 の車両後方側の内側壁面の下部寄りには、リクライニングブラケット 5 に設けた長孔 14 へ差し込む係止爪 15 が突設されている。また、アウターカバー 9 の車両後方側の内側壁面の上部寄りには、リクライニングブラケット 5 の外側壁面に設けた支持片 16 の上縁へ引っ掛ける係止部 17 が設けられている。このため、支持片 16 の上縁は、係止部 17 を入れる隙間を形成すべく、リクライニングブラケット 5 の外側壁面から立ち上がっており、係止部 17 は、アウターカバー 9 の車両後方側の内側壁面から間隔を置いて配置され、車両下方へ向かって延在している。

【0015】

一方、インナーカバー 10 は、図 4、図 6 及び図 7 ～図 9 に示すように、リクライニング機構 4 の内側で、シートクッション 2 とシートバック 3 との間に位置する露出部分のうち、回動しない構成部品のリクライニングブラケット 5 や固定ブラケット 6 を覆うことが可能な大きさで外形を有している。すなわち、インナーカバー 10 の上部 10 a は、内側へ向かって屈曲されており、取付けた状態で、アウターカバー 9 のフランジ部 9 a に当接する当接部 18 がアウターカバー 9 の係合片 13 に隣接して設けられている。したがって、アウターカバー 9 の係合片 13 と、インナーカバー 10 の当接部 18 は、シートクッション 2 とシートバック 3 との間に位置する露出部分に配設されることになる。

また、インナーカバー 10 の前後方向の中間に位置する上部端縁には、アウターカバー 9 の係合片 13 と係合する起立片 19 が形成されており、該起立片 19 の係合面には、係合片 13 を重ねた状態で面一となるように、係合片 13 の板厚分だけ段差が設けられている。

さらに、インナーカバー 10 の中間部分の内側壁面には、2 つのフック 20 が固定ブラケット 6 の差込孔 7 と対応して突設されている。しかも、当接部 18 を設けたインナーカバー 10 の中間部分には、シートクッション 2 の座面側に向けて膨出させた湾曲形状の膨

10

20

30

40

50

出部 21 が設けられている。

【0016】

本発明の実施形態に係るリクライニングカバー 8 によってリクライニング機構 4 を覆うには、まず、インナーカバー 10 を持ち、予めシートクッション 2 に固定された固定ブラケット 6 の差込孔 7 にフック 20 を差し込んで引っ掛けることによりインナーカバー 10 を固定ブラケット 6 に固定する（図 3 及び図 4 参照）。次いで、アウターカバー 9 を持ち、予め固定ブラケット 6 に取付けられたリクライニングブラケット 5 の上部端縁 5a に係合片 13 を引っ掛け、上部端縁 5a と共にインナーカバー 10 の上部端縁の起立片 19 を覆いながら巻き込み、当該上部端縁の起立片 19 の係合面と係合させる（図 2、図 4 及び図 7 参照）。このとき、インナーカバー 10 の当接部 18 は、アウターカバー 9 のフランジ部 9a に当接している（図 8 参照）。 10

その後、係止部 17 をリクライニングブラケット 5 側の支持片 16 の上縁へ引っ掛けるとともに、リクライニングブラケット 5 の長孔 14 に係止爪 15 を挿入して固定し、さらに取付孔 12 にビスなどを挿通して固定ブラケット 6 に固定すれば、リクライニング機構 4 の内側及び外側は、アウターカバー 9 及びインナーカバー 10 によって覆われることになる（図 1、図 3 参照）。この状態では、図 9 に示すように、アウターカバー 9 とインナーカバー 10 との合わせ部 X に隙間やガタツキがなく、ぴったり合っている。

【0017】

このように、本発明の実施形態に係るリクライニングカバー 8 の構造においては、固定箇所が多く、しっかり固定されてガタツキが小さいアウターカバー 9 の上部フランジ部 9a に係合片 13 を設け、リクライニングブラケット 5 の上部端縁 5a に係合片 13 を引っ掛け、上部端縁 5a と共にインナーカバー 10 の上部端縁の起立片 19 を覆いながら、当該起立片 19 の係合面と係合させるとともに、この係合箇所に隣接して、インナーカバー 10 の当接部 18 をアウターカバー 9 のフランジ部 9a に当接させているため、アウターカバー 9 及びインナーカバー 10 の端縁が開いて合わせ部 X に隙間が発生するということとはなくなり、インナーカバー 10 のガタツキを抑えつつ合わせ部 X の外観品質を向上させることができる。すなわち、係合片 13 及び起立片 19 による係合箇所では、アウターカバー 9 の端縁がインナーカバー 10 の端縁の上に重なり、隣接する当接部 18 では、インナーカバー 10 の端縁がアウターカバー 9 の上から当接することになり、互い違いに重なった状態で係合させることが可能になるため、両者の係合作用により、変形を起因としたアウターカバー 9 及びインナーカバー 10 の端縁における隙間の発生を確実に防ぐことができ、クリップやスクリューなどの固定部材を別途必要としない。 20 30

【0018】

また、本発明の実施形態に係るリクライニングカバー 8 の構造においては、アウターカバー 9 の係合片 13 とインナーカバー 10 の当接部 18 をシートクッション 2 とシートバック 3 との間のリクライニング機構 4 の露出部に設けているため、乗員が乗降する際に、最も車両外側に向けて干渉を受けやすい箇所での係合作用により、繰返しの乗降による接触を受けても、両カバー 9, 10 同士の開きを防ぐことができる。特に、インナーカバー 10 の当接部 18 の設置箇所をシートクッション 2 の座面に向けて膨出させているため、乗員が車外へ移動する場合、この膨出部 21 が最初に乗員の腰部または大腿部に当接して、アウターカバー 9 を押し付けることになり、隣接する係合片 13 の係合箇所の係合力を一層高めることができる。 40

【0019】

以上、本発明の実施の形態につき述べたが、本発明は既述の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の技術的思想に基づいて各種の変形及び変更が可能である。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図 1】本発明の実施形態に係るリクライニング機構を覆うカバーの構造が適用される車両用シートの全体を車両前方から見た斜視図である。

【図 2】本発明の実施形態のカバーを構成するアウターカバーをリクライニング機構の構 50

成部品に取付ける前の状態を示す斜視図である。

【図 3】上記実施形態の OUTER カバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態を示す斜視図である。

【図 4】上記実施形態のカバーを構成する OUTER カバー及び INNER カバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態をシート内側から見た斜視図である。

【図 5】上記実施形態の OUTER カバーを内側から見た斜視図である。

【図 6】上記実施形態の INNER カバーを内側から見た正面図である。

【図 7】図 4 における A-A 線断面図である。

【図 8】図 4 における B-B 線断面図である。

【図 9】上記実施形態の OUTER カバー及び INNER カバーをリクライニング機構の構成部品に取付けた状態を示す平面図である。 10

【符号の説明】

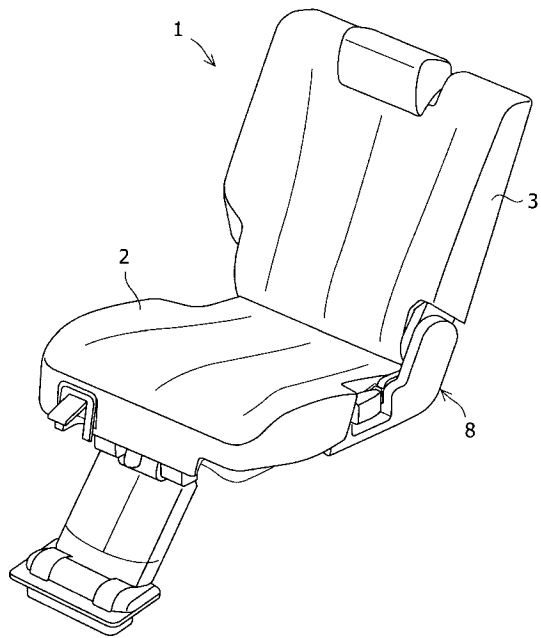
【0021】

- 1 車両用シート
- 2 シートクッション
- 3 シートバック
- 4 リクライニング機構
- 5 リクライニングブラケット
- 5a 上部端縁
- 6 固定ブラケット
- 7 差込孔
- 8 リクライニングカバー
- 9 OUTER カバー
- 9a フランジ部
- 10 INNER カバー
- 10a 上部
- 12 取付孔
- 13 係合片
- 14 長孔
- 15 係止爪
- 16 支持片
- 17 係止部
- 18 当接部
- 19 起立片
- 20 フック
- 21 膨出部

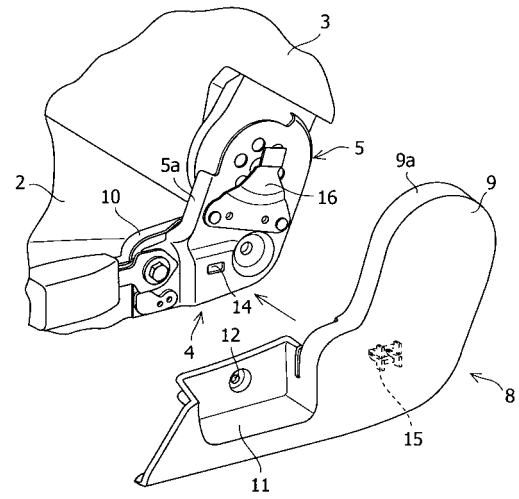
20

30

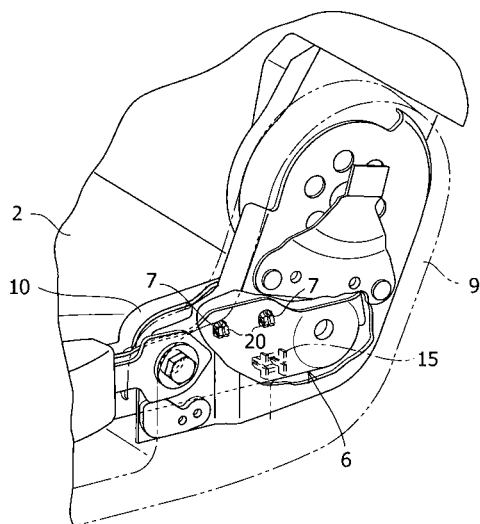
【図 1】



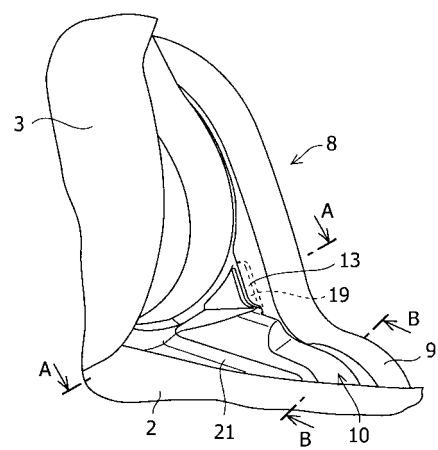
【図 2】



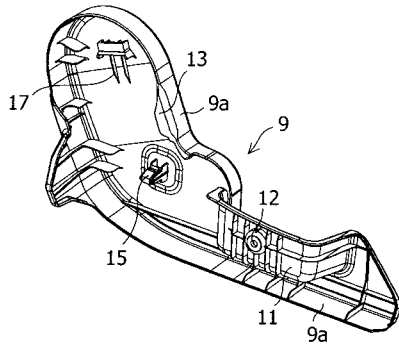
【図 3】



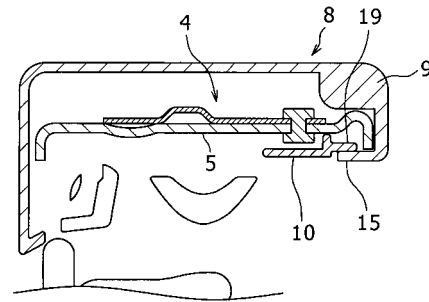
【図 4】



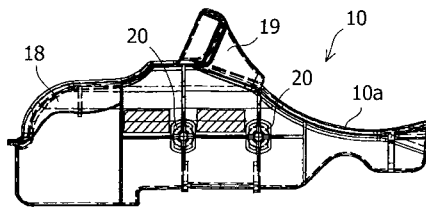
【図 5】



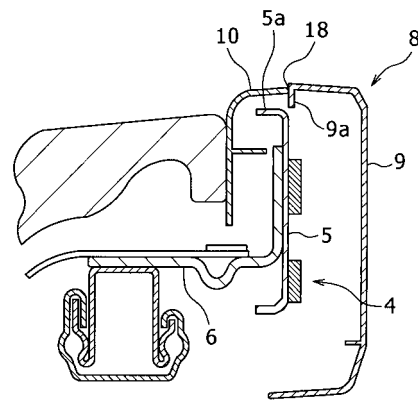
【図 7】



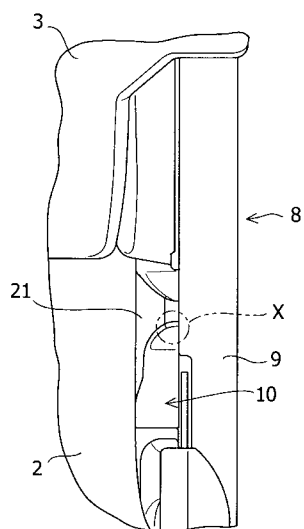
【図 6】



【図 8】



【図 9】



フロントページの続き

- (72)発明者 細見 貴幸
静岡県浜松市南区高塚町 3 0 0 番地 スズキ株式会社内
- (72)発明者 松下 文明
静岡県浜松市南区高塚町 3 0 0 番地 スズキ株式会社内
- Fターム(参考) 3B099 AA05 BA04 DA09